

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 9 月 14 日 (2017.9.14)

【公開番号】特開 2015-156636 (P2015-156636A)

【公開日】平成 27 年 8 月 27 日 (2015.8.27)

【年通号数】公開・登録公報 2015-054

【出願番号】特願 2014-254612 (P2014-254612)

【国際特許分類】

H 0 4 J 3/00 (2006.01)

H 0 4 N 21/236 (2011.01)

H 0 4 N 21/434 (2011.01)

【F I】

H 0 4 J 3/00 M

H 0 4 N 21/236

H 0 4 N 21/434

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 7 月 31 日 (2017.7.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

T S (Transport Stream) パケットを割り当てる複数のパケット配置用スロットと 1 つの多重フレームヘッダ情報用スロットからなるフレームにて可変長パケットを多重伝送する送信装置であって、

伝送する T S パケットと同サイズのパケット長の第 3 のパケットを生成し、伝送する可変長パケットを分割して各分割された当該可変長パケットのデータを前記第 3 のパケットに順次割り当て、各分割されたデータに対して、T S パケットと同一の同期バイトを付加し、且つ当該可変長パケットの先頭位置に位置するデータに対しては当該可変長パケットの先頭位置を示す先頭位置情報を付加した当該第 3 のパケットのパケット列を形成する可変長パケット分割手段と、

予め定められた複数のパケット配置用スロットを有するフレームにおける前記 T S パケット及び前記第 3 のパケットのデータ構造配列を規定する多重フレームヘッダ情報を生成する多重フレームヘッダ生成手段と、

前記多重フレームヘッダ情報に基づいて、前記 T S パケット及び前記第 3 のパケットを当該パケット配置用スロットごとに配列して多重化し、複数 T S 多重フレームとして構成する多重化手段と、

前記複数 T S 多重フレームの多重化信号を外部に送信する送信手段と、  
を備えることを特徴とする送信装置。

【請求項 2】

T S パケットを割り当てる複数のパケット配置用スロットと 1 つの多重フレームヘッダ情報用スロットからなるフレームにて可変長パケットのデータが多重化された複数 T S 多重フレームの多重化信号から可変長パケットのデータを受信する受信装置であって、

当該複数 T S 多重フレームの多重化信号を受信する受信手段と、

前記複数 T S 多重フレームの多重フレームヘッダ情報を参照して前記複数 T S 多重フレームから前記可変長パケットのデータを含む第 3 のパケットを抜き出して分離する分離手

段と、

前記第3の packets に格納されている可変長 packets の先頭位置情報を抽出し、当該可変長 packets の先頭位置情報を基に当該第3の packets の packets 列からデータを抽出して合成し当該可変長 packets を復元する可変長 packets 復元手段と、  
を備えることを特徴とする受信装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】削除

【補正の内容】